

「古事類苑」識別タグ仕様

A 部名 (各部の見出し部分)

B 門名 (各門の見出し部分)

C 項名 (各項の見出し部分)

D 目名 (各目の見出し部分)

Q 細目名 (各細目の見出し部分)

S 詳細

T 内訳

G 概説 (門名に続く文章)

V 引用書名

N 編目位置 (引用書名分)

H 資料本文 (引用書名分)

W 参考資料名

M 編目位置 (参考資料分)

X 資料本文 (参考資料分)

P ページ

コメント

A 古事類苑

A 天部一

B 天

名稱 C

G 天ハアメ、又ソラト云ヒ、字音ニテテント云フ、又虛空ト稱ス、此篇ニハ天ニ關スル傳說、及ビ

V 天上ヨリ異物ヲ降シ、空中ニ聲アルガ如キモノヲモ並載セリ。

〔類聚名義抄

大〕

天ハ泰ル堅反

アメタカシ

〔段注說文解字

上〕

天顛也

アメタカシ

W 〔段注說文解字〕 上 天顛也。此以同部疊韵爲訓也。凡門闈也、戶護也、尾徵也、髮拔也、皆此例。凡言元レ互言之、天顛不可倒言之、蓋求義則轉移皆是、舉物則定名難假然其爲訓詁則一也。顛者人之頂也。以爲凡高之偁、始者女之初也、以爲凡起之偁、然則天亦可爲凡顛之偁、臣於君子於父、妻於夫、民於天、是也。至高無上从一大、至高無上是其大無有二也、故从一大於六書爲會意、凡會合二字以成語、如一大、人言止戈皆是、他前切十二部。

〔爾雅註疏〕 釋天第八疏 河圓括地象云、易有太極、是

也、至高無上、從一大也、春秋說高理下、爲人經紀、故其字一大以鎮之、此天之言顛也、居

〔古事記下〕 此時、其夫速總別王到來之時、其妻女鳥王歌曰、比婆理波、阿米邇加氣流、多迦由玖夜、波

夜夫佐和氣佐邪岐登良佐泥。

〔神代直指抄〕 「あめつちといふは、本朝最初言語音聲のはじめにあめといひて、たかき義、ひろき義、たぶとき義、のばる義、四義そなはりて、陽道の義をあらはす、あめをゑといふ、ゑは、開聲にて、う名の義也。○中、のちに、雨をあめといふは、天よりふるゆへに、天のことばを、そのまゝかりていふ、」

〔日本釋名〕 天上泉

天地

あめの反字はゑ也、ゑはひらくかな、陽也、つちの反字はち也、ちはとづるか